
緋弾のエリア ~SEEDを持つ者~

キラ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

緋弾のアリア ～SEEDを持つ者～

【Nコード】

N0072BA

【作者名】

キラ

【あらすじ】

SEEDという未知なる力を秘めた斎藤 恒輝 さいとう こうき は生存率97.1%である強襲科所属のランクス。そんな彼の元に空から女の子が降ってきた？
ヤンデレな彼女星伽白雪と神崎・H・アリア、親友の遠山 キンジそして斎藤 恒輝を中心とした物語が今始まる？

キャラ設定（前書き）

初めての作品なので上手くは書けませんが見てくれると嬉しいです
！！感想、アドバイスがあるとやる気ができます！！なるべく一週間に一回は投稿しようと思うのでよろしくお願いします。

キャラ設定

主人公設定

?名前

斎藤 恒輝

?性別

男

?容姿

中性的な顔立ちをしていてよくモテる。髪の色は茶色でキンジよりも少しだけ長いため女子と間違われる事もある。目の色は黒。

?性格

誰にでも愛想が良く仲間想いのとても優しく誰かを守る為に自分が傷つくのは構わない性格

?学年

二年生

?所属学科

強襲科(ランクS)

?使用武器

グロック17(違法改造によりフルオート可能また、通常の重さである703gよりも50g軽くしてある。

蒼天

イロカネアヤメと並ぶ名剣であり同じ刀鍛冶により制作された。イロカネアヤメよりも刀身が長く扱いが難しい恒輝は難なく扱う。普段は腰のベルトにぶら下げてある。

? 特殊能力

SEED

自分もしくは仲間の危機の時また感情が爆発した時に発動し、戦闘能力を始めとする全ての能力を50倍まで上げるが終了後は3日間眠り続けるうえに10分程しか保つことが出来ない。発動している間は目のハイライトが消える。

? 備考

星伽 白雪とは幼馴染であり恋人であり許婚である。遠山キンジとは親友で探偵科の寮に住まわせてもらっている。

新学期の朝

ピピピピピー

携帯のアラームがなり僕はいつもと同じ時間に目を覚ました。もう朝か。まだあったかい布団の中にいたいな。そう思って寝返りを打とうとすると…あれ？布団が人1人分盛り上がってないか？いやいやいやそんなことある分けないよね？

「おーい、こーきー朝だぞ！！起きろー遅刻するぞー！！」

キンジがドアの外から声をかけてくれてるのか。有難いな。眠いけど仕方ない。起きるか。体を起こして布団をどかさうとすると…モゴモゴとさっきの膨らみが動きだした。わかった。わかったよ…めくれば良いんだろ？僕は覚悟を決めて布団をめくった。

「白雪：ナニヤツテンノ？」

そう。僕のベットに潜り込んでモゴモゴしていた物の正体はキンジと僕の幼馴染であり僕の恋人兼許婚の星伽 白雪だった。

制服姿で入り込んで来たせいかスカートがめくれている、そのなんというか凄くエロく見える。白雪は急に視界が明るくなって眩しいのか目を擦りながら

「だって、こうちゃんがなくて…寂しくて…つい」

そうか…でも、ここ男子寮だしな。僕とキンジの2人しか住んでないけど。ん？キンジ？あー？忘れてたー！時間、時間！！携帯の時計を見ると既に7時54分。いつも乗ってるバスは7時57分だから急いで着替えれば間に合うかも。

「白雪、早く着替える！ってあれ？」

白雪がいない。キョロキョロと白雪を探しているとキンジが部屋に

入って来た。

「白雪ならお前が考え事している間に行っちゃまったぞ。朝ご飯持って来たから食べてだつてさ。まあ、もう食う時間は残ってねえけど。待ってやるから着替え終わったら声をかけてくれ」

その言葉を聞き僕は急いで制服に着替えた。そう、東京武偵高校の制服に…。

武偵

『武装探偵』の四文字を語源とする、凶悪化する犯罪に対抗して作られた国際資格。

武偵免許を持つ者は、銃火器・刀剣などの武装を許可され、逮捕権を有する等、警察に準ずる活動が出来る。

警察と違うのは、金で動き、金さえもらえれば『武偵法』の許す範囲において、あらゆる仕事を請け負う点。簡単に言ってしまうと『便利屋』と言う事だ。

6

そんな彼らを育成する機関が、東京湾岸部・・・東西500mの長方形をした人工浮島の上に存在する。

僕達に通っている東京武偵高校。

通称、学園島。

元々は東京湾岸の再開発に失敗して叩き売りに出された土地で、レインボーブリッジを挟んで北にある同型の人工浮島は未だに空き地で・・・見たまんま『空き地島』と呼ばれている。

まあ、武偵高の説明はこんな感じかな？

2分程で着替えを終わらし武器を装着した僕は白雪お手製の朝ご飯を鞆の中に入れてキンジに声をかける。

「待っててくれてありがとう。バスはもう間に合わないしチャリで行こう」

パソコンでメールを見ていたらしいキンジは電源を落としながら

「了解」

と言いながら2人揃って玄関を飛び出した。これがあの神崎？H？
アリアとの出会いになるとは知らずに…

新学期の朝（後書き）

いかがでしたでしょうか？あんまり上手くは書けなかった気がしますが…次回はアリアを登場させる予定デス！感想やアドバイスを待っています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0072ba/>

緋弾のエリア ~SEEDを持つ者~

2012年1月1日01時47分発行